

（問題用紙 4枚中1枚目）

受験
番号

問 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（解答は所定の解答欄に記入すること）

著作権の関係で
公開できません

（問題用紙 4枚中2枚目）

受験
番号

著作権の関係で 公開できません

（原田千鶴「看護領域における『わざ言語』が機能する『感覚の共有』の実際」生田久美子・北村勝朗編著『わざ言語―感覚の共有を通しての「学び」』二〇二二、一七四頁～一七七頁より。なお、本文の一部を変更して出題している）

注 ※わざ言語…ここでは、わざの伝承の過程でよく使われる独特な表現のことを指す。

※塩瀬…塩瀬隆之。京都大学准教授。

※徒弟制度…親方の家に住み込みをして仕事を習い覚える制度。

(問題用紙 4枚中3枚目)

受 験 番 号	
------------	--

問一 傍線部(A)「テキオウ」、(B)「ハヤ(さ)」、(C)「ジュツコウ」、(D)「モホウ」、
(E)「ウナガ(す)」のカタカナをそれぞれ漢字に改めなさい。

問二 傍線部(a)「臨床」、(b)「訴(え)」、(c)「到達」、(d)「卓越」、(e)「真似(る)」の
読み仮名をそれぞれひらがなで答えなさい。

問三 傍線部①「状況依存的な学習」とあるが、この場合どのような学習を指しているか、本文に
即して簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部②「時間感覚の違い」とあるが、これはどのような違いがあると言っているのか。何
と何との違いであると分かるように説明しなさい。

問五 傍線部③「看護ケアの本質」におけるここでの前提はどのようなことか。それに当たる事柄
を述べた部分の最初と最後の五字を抜き出しなさい(句読点を含む)。

問六 傍線部④「突きつけられている」とあるが、何のどのような状態を述べているか、簡潔に説
明しなさい。

問七 X に入る最も適当な語句を次のア～オから一つ選んで記号で答えなさい。

ア だから イ むしろ ウ しかし エ つまり オ ところで

問八 Y に入る最も適当な漢字二字を文章中より抜き出して答えなさい。

問九 傍線部⑤「兆候」⑥「目配せ」の語句としての意味を答えなさい。

（問題用紙 4枚中4枚目）

受 験
番 号

問十 傍線部⑦「感覚を共有する場」とはここでは具体的にはどのような場所か、文章中の内容を踏まえて簡潔に説明しなさい。

問十一 傍線部⑧「喜び、危険、苦痛、悲しみ」において、ここでの「喜び」「悲しみ」はどのようなことを指すと考えられるか。簡潔に答えなさい。

問十二 二重傍線部「本物の看護」「本物の看護師」とは、文章全体の内容からどのようなものと言えるか説明しなさい。